

防災

だより

令和7年3月19日発行
第5号

令和6度も本校の防災活動にご協力頂きありがとうございました。

○保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、今年度実施いたしました防災活動では、皆様の多大なるご支援とご協力により、実りある活動となりましたことを心より感謝申し上げます。今年度の防災活動では、地震や火災などの災害を想定した避難訓練や、不審者対応訓練、福祉避難所開設訓練を実施いたしました。保護者の皆様には、引き渡し訓練に積極的にご参加いただき、子どもたちと一緒に真剣に取り組んでいただきました。今回の防災活動を通して、子どもたちは、災害に対する意識を高め、自らの身を守るための行動を学ぶことができました。これもひとえに、保護者の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。今後も、本校では、子どもたちの安全確保を最優先に、防災教育に力を入れてまいります。保護者の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ありがとうございました



第2回避難訓練・引き渡し訓練

○10月31日木曜日に実施した避難訓練・引き渡し訓練は本校が開校してから初となる全校児童生徒を対象とした引き渡し訓練を実施しました。訓練に参加した保護者の皆様には、お忙しいところありがとうございました。また、訓練の際には、スムーズな誘導を心掛けましたが待機時間で長くお待たせをしまい申し訳ありませんでした。今回の訓練を受けて学校としても様々な改善点を把握することができました。この反省を生かして今後にかかしていきます。



第3回避難訓練（不審者対応訓練）

○1月30日木曜日には、不審者対応訓練を行いました。今回の訓練では、各フロアに不審者が出没した想定で不審者対応マニュアルに則り、不審者の侵入時における各担当者の役割と第1対応として、児童生徒の安全確保をしつつ迅速に複数人で対応するところに重点を置いて訓練を行いました。



学校防災連絡会議

○2月19日水曜日には、本校の防災アドバイザーを担って頂いている長坂俊成教授、玉取地区よりの池田昭浩副区長 PTA 本部から小林智恵様、金森祐輔様、梅山恵子様をお招きし今年度の本校の防災活動の報告をさせて頂きました。防災活動についての課題となるところやアドバイス等を交えながら話し合いを行いました。



災害や困難な状況になった際に、「自助」「共助」「公助」の「3つの助」が重要です。

「自助・共助・公助ってなあに？」

知っておきたい「自助・共助・公助」について、わかりやすく説明します。

1. 自助：自分のことは自分で守ろう！

「自助」とは、「自分の身は自分で守ること」です。

災害が起こった時、まずは自分で自分の安全を確保することが大切です。

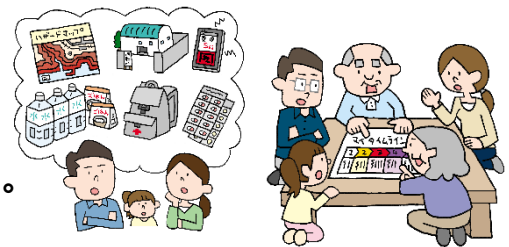
例えば…

- 🏠 地震が起きたら、テーブルの下に隠れて頭を守る。
- 🚒 火事を見つけたら、大声で周りの人に知らせる。
- 🧳 避難するときは、非常持ち出し袋を持って逃げる。

このように、日頃から災害に備えておくことが「自助」です。

お子さんと一緒にできること

- 👨‍👩‍👧‍👦 家族で避難場所や連絡方法を確認する。
- 🧳 非常持ち出し袋を一緒に作る。
- 📖 防災に関する絵本を読んだり、動画を見たりする。



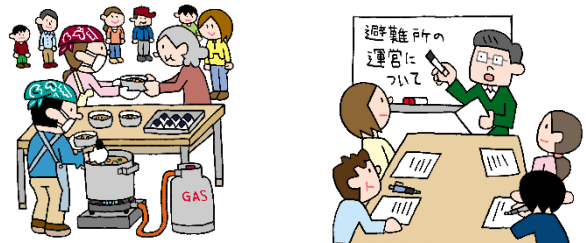
2. 共助：みんなで助け合おう！

「共助」とは、「地域の人々が互いに助け合うこと」です。

災害時、自分一人ではできないことも、周りの人と協力すれば乗り越えられます。

例えば…

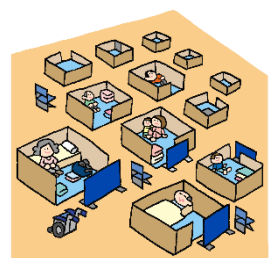
- 🤝 避難所で、困っている人に手を貸す。
- 🤝 避難所運営を一緒に行う。
- 🍲 食料や水を分け合う。
- 🧹 がれきを一緒に片付ける。



日頃から地域の人と交流しておくことが、「共助」につながります。

お子さんと一緒にできること

- 🏠 地域の防災訓練に参加する。
- 🧓 近所のお年寄りに優しく声をかける。
- 🤝 友達と助け合うことを学ぶ。



3. 公助：国や自治体が助けてくれる！

「公助」とは、「国や自治体が、私たちを守るために活動すること」です。

災害時に、警察や消防、自衛隊などが救助活動や復旧活動を行います。避難所や医療の提供なども「公助」です。

例えば…

- 🚑 救急車でけが人を病院に運ぶ。
- 🚒 火を消したり、救助活動を行う。
- 🏠 避難所を開設し、生活を支援する。



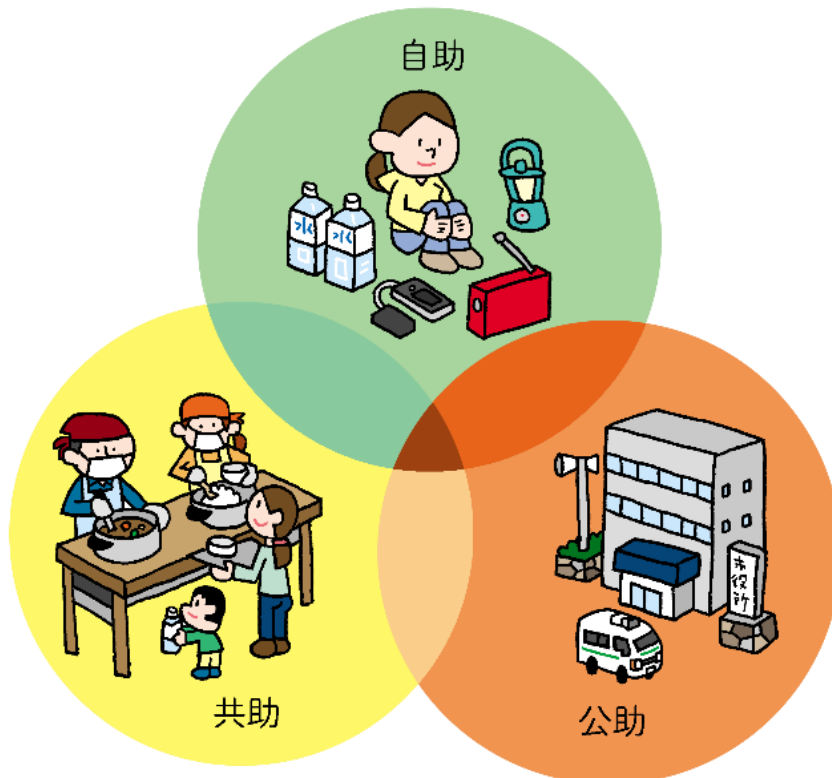
「公助」は、自助や共助では対応できない大きな災害の時に、特に重要になります。

まとめ

自助・共助・公助は、どれも大切です。

まずは自分で自分の身を守り、地域やコミュニティで助け合い、そして公助によって支えられることで、安全な暮らしを守ることができます。

お子さんにもわかりやすく伝え、一緒に防災について考えてみましょう。



災害時引き渡しに関する基準と流れについて

地震発生

- つくば市が震度5弱以上の場合には必ず引き渡しを行います。
- 大きな地震が発生したときは、震度を確認（テレビ、ラジオ、防災アプリ等の確かな情報のもの）し、震度5弱以上のときは、お迎えの準備をお願いします。

メール配信

- 楽メを使用して、引き渡しについて保護者へ配信します。
- 通信障害等で、楽メの配信ことがあります。震度5弱以上の時は必ず迎えをお願いします。

引き渡し

- 来校後は学校からお知らせしている手順に沿って、引き渡しを行います。
- 校内の準備ができ次第引き渡しを開始します。お迎えに来ていただいた場合でもお待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

こんなときどうする・・・

つくば市の震度が5弱未満だったが、引き渡しになることはあるのか

- つくば市が震度5弱未満であっても、被害の状況によっては引き渡しを決定する場合があります。その場合は、楽メ等でお知らせします。

来校後の引き渡しの手順を確認したい

- 学校ホームページに引き渡し手順を説明する動画を掲載しています。ぜひご確認ください。

引き渡しの連絡はないが被害状況が心配なので、迎えに行きたい。

- 来校される前に、担任へ連絡をして頂き、迎えにくる旨を伝えてから来校してください。

迎えに行きたいが、道路の被害状況等により時間がかかりそう。

- まずはご自身の周辺の安全を確認して頂き、周囲の状況や道路状況等を把握してから「安全第一」で引き渡しに来校してください。

地震後、通信障害等で学校からの連絡が受け取れない。

- 慌てず情報収集を行ってください。つくば市で震度5弱以上が観測された場合は、準備が整い次第、児童生徒の引き渡しを行いますので、気を付けて来校してください。

震度5弱以上だったのにメールが届かないときは

- 震度5弱以上の場合は必ず引き渡しです。電波状況でメールが届かないことも想定されます。メールがなくてもお迎えをお願いします。